

平成 30 年 5 月 29 日

長岡市教育委員会（定例会）会議録

長岡市教育委員会



1 日 時 平成 30 年 5 月 29 日 (火曜日)

午後 3 時から午後 3 時 50 分まで

2 場 所 教育委員会会議室

3 出席委員

教育長 高橋 譲                      委 員 鷲尾 達雄                      委 員 羽賀 友信  
委 員 青柳 由美子                      委 員 大久保 真紀

4 職務のため出席した者

教育部長	金澤 俊道	子ども未来部長	波多 文子
教育総務課長	曾根 徹	教育施設課長	遠藤 雄一
学務課長	佐藤 正高	学校教育課長	小池 隆宏
子ども家庭課長	大矢 芳彦	保育課長	田辺 亮
青少年育成課長	斎藤 裕子	中央図書館長	山田 あゆみ
科学博物館長	小熊 博史	スポーツ振興課長	竹内 正浩
学校教育課主幹兼管理指導主事	高橋 和久	学校教育課主幹兼管理指導主事	丸山 巧
学校教育課主幹兼管理指導主事	神林 俊之	学校教育課企画推進係指導主事	小嶋 修

5 事務のため出席した者

教育総務課長補佐      安達 紀子                      教育総務課庶務係長      佐藤 裕  
教育総務課庶務係      五十嵐 淳

## 6 議事日程

日程	議案番号	案 件
1		会議録署名委員について
2	第 26 号	条例改正の申出について (長岡市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正)
3	第 27 号	条例廃止の申出について (長岡市青少年文化センター条例の廃止)
4	第 28 号	長岡市立中学校部活動指導員の任用等に関する要綱の制定について
5	第 29 号	附属機関委員の委嘱について

## 7 会議の経過

(高橋教育長) これより教育委員会 5 月定例会を開会する。

---

### ◇日程第 1 会議録署名委員について

(高橋教育長) 日程第 1 会議録署名委員の指名を行う。会議録署名委員については、長岡市教育委員会会議規則第 19 条第 2 項の規定により、鷲尾委員及び大久保委員を指名する。

---

### ◇日程第 2 議案第 26 号 条例改正の申出について (長岡市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正)

(高橋教育長) 日程第 2 議案第 26 号 条例改正の申出について (長岡市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正) を議題とする。事務局の説明を求める。

(斎藤青少年育成課長) この条例の基となっている厚生労働省令が平成 30 年 3 月 30 日付けで一部改正されたことに伴い、放課後児童支援員、児童館・児童クラブ

厚生員の資格規定が改正されたので、当市の条例改正を申し出るものである。改正点の1点目は、教員免許状を有する者の対象範囲の明確化である。教員免許の更新を行わず失効した方についても有資格者であることを条文に明確化する。あわせて、特別支援学校の教員免許のみを有する者、臨時免許状や特別免許状を有する者、養護教諭免許を有する者も有資格者とする。これは改正前と改正後で解釈が変更になったわけではないが、全国の自治体から問い合わせが多くあったとのことで条文で明確化するものである。2点目は、実務経験が豊富な中卒者を資格対象者とするものである。これまで資格要件が高卒者以上とされていたものを、中卒者で実務経験が5年以上の者で市長が適当と認めた者について有資格者となれるよう条件を緩和する。地方からの提案を踏まえた改正である。

(高橋教育長) 質疑・意見はあるか。

(高橋教育長) 今回の改正によって児童厚生員を採用しやすくなるということか。

(斎藤青少年育成課長) 条件の緩和や条文による対象者の明確化が図られるため、児童厚生員を採用しやすくなる。

(高橋教育長) 条例改正以前の状況において、児童厚生員の確保に苦勞している児童館・児童クラブはあったか。

(斎藤青少年育成課長) 条件に当てはまらないために有資格者を配置できなかった児童館・児童クラブはない。

(高橋教育長) 他に、質疑・意見はあるか。

(高橋教育長) これより採決に移る。本件は、原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(高橋教育長) 異議なしと認める。よって、本件は原案のとおり決定した。

---

◇日程第3 議案第27号 条例廃止の申出について(長岡市青少年文化センター条例の廃止)

(高橋教育長) 日程第3 議案第27号 条例廃止の申出について(長岡市青少年文化センター条例の廃止) を議題とする。事務局の説明を求める。

(斎藤青少年育成課長) 平成 31 年 3 月 31 日をもって青少年文化センターを閉館・廃止することに伴い、平成 31 年 4 月 1 日付けで設置条例の廃止を申し出るものである。青少年文化センターは竣工から 48 年が経過し、壁面の雨漏りや水道管の腐食に加えて、老朽化したガス管を交換するよう指導を受けるなど施設の老朽化が進んでいる。また、プラネタリウムの機器や展示品の多くが 20 年以上経過する中で、部品の生産が終了しているため故障しても修理することができない状況であり、長期的な使用が困難な状況になっている。さらに、他の市有施設の整備や民間事業者による類似の講座が充実していること、市民のニーズや価値観の多様化に伴う利用者数の減少が続いていることから、長岡市全体の公共施設総合管理計画に基づき、公共施設の効果的・効率的な活用を進めるため、施設の複合化を進めていく中で青少年文化センターの廃止・取り壊しを実施する。これまで実施していたソフト事業の一部については、今後整備される予定の米百俵プレイス（仮称）や、まちなかキャンパス、中央公民館など各施設の特性に合わせて実施したい。市政だより等で正式に広報するために、この時期に条例の廃止を申し出るものである。

(高橋教育長) 質疑・意見はあるか。

(高橋教育長) 青少年文化センターの廃止について新聞記事で報道されたことで、市民からはどのような意見や問い合わせがあったか。

(斎藤青少年育成課長) 廃止は残念だが、老朽化しているのではないという意見や、今後子どもたちが学ぶことができる場をどのように確保していくかという問い合わせがあった。

(高橋教育長) 他に、質疑・意見はあるか。

(高橋教育長) これより採決に移る。本件は、原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(高橋教育長) 異議なしと認める。よって、本件は原案のとおり決定した。

---

◇日程第 4 議案第 28 号 長岡市立中学校部活動指導員の任用等に関する要綱の制定について

(高橋教育長) 日程第4 議案第28号 長岡市立中学校部活動指導員の任用等に関する要綱の制定について を議題とする。事務局の説明を求める。

(小池学校教育課長) 要綱制定の目的は、部活動指導員を導入し、外部指導員の専門的な指導による中学校部活動の充実と教職員の負担軽減を図ることである。職務内容は、部活動の技術指導や安全・障害予防に関する知識・技能の指導、保護者等への連絡、年間・月間指導計画の作成、生徒指導に係る対応等である。任用条件については、要綱には具体的な記載はなく要領において定める。また、目的や身分、服務関係については、長岡市非常勤嘱託員任用等に関する要綱に規定する嘱託員の例を準用する。部活動指導員の報酬は時給制となり、月額制である嘱託員と異なるため詳細等は要領で定める。

(高橋教育長) 質疑・意見はあるか。

(青柳委員) 任用条件は、要綱には記載がないが、要領に記載されているということか。

(小池学校教育課長) 職務内容等は、要領に具体的な内容を記載している。

(高橋教育長) 部活動指導員は、市独自の施策ではなく全国・県も実施しているものである。要綱における職務内容と任用条件について、県内の自治体でほぼ統一された内容で定められているが、長岡市も県や国の要綱に準じて制定したものである。

(鷲尾委員) 生徒指導や事故発生時には、顧問教員等と連携し、学校として組織的に対応すると記載があるが、年間・月間指導計画の作成では、必要に応じて顧問教員等と連携して作成するとある。指導計画の作成についても生徒指導と近い部分があると思うが、「必要に応じて」という文言を加えたことに意図があるのか。

(金澤教育部長) 基本的に部活動指導員は学校職員として、校長の指揮下に入る。今までの外部の指導者との違いは、部活動指導員が単独で活動や指導ができ、大会引率もできることである。事故発生時や生徒指導上の問題などは、部活動指導員単独での活動中にも起きる可能性はあり、その場合は即座に対応しなければいけない。しかし、部活動指導員は常勤ではないため、部活動の計画などは顧問を中心に作成することとなり、指導計画は部活動指導員だけで作成するものではないことを明記している。

(高橋教育長) 他に、質疑・意見はあるか。

(高橋教育長) これより採決に移る。本件は、原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(高橋教育長) 異議なしと認める。よって、本件は原案のとおり決定した。

---

◇日程第5 議案第29号 附属機関委員の委嘱について

(高橋教育長) 日程第5 議案第29号 附属機関委員の委嘱について を議題とする。事務局の説明を求める。

(曾根教育総務課長) 長岡市スポーツ推進審議会の任期が、平成30年4月30日で満了となり、新委員を委嘱する。委員選任に時間を要したため5月1日からではなく、平成30年6月1日から平成32年5月31日までの2年間で委嘱期間とする。委員の不在期間が1か月間あったが、この間に審議会は開催されず特段の支障はなかった。学識経験者や団体推薦、地域推薦、公募での選出で再任が12名、新任が8名で合計20名である。

(高橋教育長) 質疑・意見はあるか。

(高橋教育長) 長岡市スポーツ推進審議会の具体的な職務内容や、年間で何回審議会を開催するのか、直接指導するのか簡単に説明を求める。

(竹内スポーツ振興課長) 定数20名以内で学識経験者と団体推薦、地域推薦、公募で選ばれた委員から、長岡市のスポーツ行政に関する審議・協議を行っていただく。通常は年2回程度審議会を開催し、年度初めには今年度のスポーツ行政について説明をして意見を求め、年度末には成果報告をして意見を伺う。そのほか、必要に応じて委員会を開催することとなっている。

(高橋教育長) 先日策定された長岡市スポーツ推進計画にも携わっているのか。

(竹内スポーツ振興課長) 計画策定の途中で審議していただいたほか、昨年度末には計画に基づいた今年度のスポーツ行政・事業についての意見を求めた。

(高橋教育長) 他に、質疑・意見はあるか。

(高橋教育長) これより採決に移る。本件は、原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(高橋教育長) 異議なしと認める。よって、本件は原案のとおり決定した。

---

(高橋教育長) 以上をもって、本日の議案の審議については終了した。

---

(高橋教育長) 次に、協議報告事項に移る。最初に、教育に関する事務の点検及び評価方法について 事務局の説明を求める。

(曾根教育総務課長) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条に基づき、平成 29 年度に教育委員会が実施した事務について点検及び評価を実施する。点検・評価の項目については、教育委員会会議の開催及び審議状況と長岡市教育振興基本計画（平成 28 年度策定）の施策の内容についての点検評価である。昨年度に点検・評価の流れを変更したが、今年度も昨年度同様のスケジュールで実施する。6 月 13 日に教育委員会協議会を開催し、事務局案を教育委員に説明する。教育委員からの意見を反映させたものを 7 月 11 日の事務評価委員会で事務評価委員に説明する。その後、事務評価委員の意見を取りまとめ、8 月 21 日に教育委員会定例会で報告書を提出・説明して最終決定する。最終決定後、9 月の市議会に報告し、その後公表する。事務評価委員について、昨年は 4 名であったが、3 期 6 年を務めた 2 名の委員に替わり、渡辺美子氏を新たに委員に加えた 3 名体制とした。渡辺氏は、ながおか市民協働センター長を務めており、熱中！感動！夢づくり教育の推進会議委員も務めている。

(高橋教育長) 質疑・意見はあるか。

(青柳委員) 4 名を 3 名にした理由は何か。

(曾根教育総務課長) 要領では、4 名以内の委員を設置することになっている。これまで、3 名または 4 名の年度もあった。新たな意見が出るようにという観点から、新任委員 1 名を加えた。

(高橋教育長) 新教育委員会制度になった際に、教育委員から教育長及び事務局に対するチェック機能が強化された。教育委員会会議の開催及び審議状況について

も事務評価委員会から評価される。一方で、8月の定例会で教育委員が報告書を決定することになるが、事務評価委員・教育委員それぞれの視点で教育委員会の事務をしっかりと評価し意見をいただくこととなるので、積極的に意見を述べてほしい。

(高橋教育長) 次に、平成30年度全国学力・学習状況調査問題 長岡市教育委員会分析概要について 事務局の説明を求める。

(小池学校教育課長) 4月17日に、市内全小中学校が参加し、教科に関する調査(国語、算数・数学、理科)及び生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査が行われた。主として「知識」に関する問題と、実生活に活かせる「活用」に関する問題の2つに分けて行われた。平成24年度から3年に一度実施される理科も今回調査が行われ、「知識」に関する問題と「活用」に関する問題が一体的に行われた。今年度の傾向として、全体的に実生活の具体的な場面や生徒が授業などで実際に行っている言語活動を想定した出題、他教科等の学習で知識・技能が活用される問題状況を設定する出題が多くなっている。長岡市の課題に関連する問題に注目して分析を行った。具体的な問題の分析の概要については、担当指導主事が説明をする。

(小嶋学校教育課企画推進係指導主事) 小学校の国語を例に、長岡市の課題と関連する問題の分析概要について説明する。同音異義語の意味を考え使い分けることに課題があった。また、理由を明確にして自分の考えをまとめることが課題である。関連する問題は、国語A 8番と国語B 3番であった。国語A 8番は、見学したことをまとめたノートの一部を読んで、同じ漢字を使って書く文を選ぶ問題である。内容や文の意味を理解し、用いられている言葉や文脈から漢字を正しく使うことができるかを注目して分析していく。国語B 3番は、伝記を読んで最も心がひかれた一文とその理由を書く授業場面を設定した問題である。最も心がひかれた一文とその理由の枠にあてはまる内容を3つの条件に基づいて、目的に応じた文章内容を的確に押さえ、根拠・理由を示し自分の考えをまとめることができるかに注目して分析する。算数や中学校国語、数学についても分析をする。文部科学省から調査結果が届くのは7月下旬の予定であり、例年より1か月程早い。2学期からの指導改善に活用できるように、今回注目した問題をはじめ長岡市の結果分析を進めていく予定である。

(高橋教育長) 質疑、意見はないか。

(高橋教育長) 平成30年度長岡市成人式について 事務局の説明を求める。

(斎藤青少年育成課長) 平成30年度5月開催分の長岡市成人式は、5月3日に長岡、越路、小国、栃尾、川口の5地域で開催した。5地域合計で2,135人の新成人が出席した。個別の出席者数・内容・エピソードなどは資料のとおりである。長岡地域成人式は数年ぶりに小雨が降ったが、新成人1,800人、家族800人が出席した。家族の出席者は昨年から減少した。30分間の式典後、ナカドマでオープンカフェを開催し、新成人が久しぶりに会う友達と記念写真を撮ったり、飲み物を飲みながら歓談していた。8月14日に山古志地域、8月15日に与板、中之島、和島、三島、寺泊地域で成人式の開催を予定している。

(高橋教育長) 質疑、意見はないか。

(高橋教育長) これにて、協議報告事項を終了する。

(高橋教育長) 次に、催し案内について、補足説明のあるものは挙手願う。

(小池学校教育課長) 熱中！感動！夢づくり教育 ふれ愛芸術体験事業は、中島小学校と石坂小学校で長岡市出身の能楽師・高井松男氏による能楽体験教室を開く。栃尾東小学校では、長岡市出身の日本画家・大矢紀氏による絵画教室で、大矢画伯から話を聞き、子どもたちが直接指導を受ける。

(山田中央図書館長) 館所蔵品展～初夏の展示～は、油絵の若井宣雄氏の特集である。同時開催の新収蔵作品展では、穂苅春雄氏寄贈の150号の大作の日本画を展示する。また、栃尾地域の方から寄贈された韓国の陶磁器約10点を展示する。併催の刀剣コーナーでは、関連イベントとして刀剣初心者講座や刀剣ファンのつどいがある。県立栃尾高等学校 高校生美里絵展～枯葉や樹皮に命を吹き込んで～が同時開催される。図書館開館100周年を記念して、図書館まつりを開催する。6月8日は図書館開館記念日で開館式典が開かれる。8日・9日・10日の3日間で中央図書館の全館でイベントが行われる。また、各地域図書館でも9日・10日にイベントが開催される。寺泊地域図書館と寺泊大河津図書室は、選挙会場になるため、日を改めてイベントを開催する予定である。各日イベント参加者には、先着で100周年記念缶バッジや手作りしおりをプレゼントする。

(小熊科学博物館長) 長岡開府400年記念事業として、科学博物館に関わる展示会のPRを図るため、5月から12月の展示会開催イベントをチラシやポスターにまと

めた。長岡城跡出土品展はアオーレ長岡で開催し、5月27日の記念式典の日にも開催したことで1,000人を超える来場者だった。郷土史料館では、白峰駿馬の関連資料を長岡市で初公開する。まだ長岡藩主牧野家史料館を知らない市民もいるため、来場してもらうよう周知を図る。

(大矢子ども家庭課長) 子育て支援講座を開催する。NP(ノーバディズ・パーフェクト)プログラムは、「完璧な親なんていない」というメッセージのもとに作られた、カナダ生まれの親支援プログラムである。父親向けと母親向けの講座があり、ともに定員12名で既に開催している。ファミリー・サポート・センター活動だよりを作成し、活動についてまとめた。活動は満15年を迎えた。ただ、事業の周知が足りないことや、子どもの一時的預かりサービスが少ないとの意見があり、引き続き積極的に周知していく。

(田辺保育課長) 東京フィル保育園わくわくコンサートは、東京フィルハーモニー交響楽団フルート奏者3名が6月13日・14日・15日の3日間で市内5か所の保育園を訪問し、園児・保護者及び保育士を対象としたコンサートを行う。例年、大変好評で子ども達は楽しみにしていると聞いている。

(斎藤青少年育成課長) 6月10日にアオーレ長岡で、第49回子どもフェスティバルを開催する。各団体が様々な催しを出店するが、新しい内容として、スケボー体験や壊れたおもちゃを直すおもちゃ病院、ナカドマではミニSL出前運行を行う。あわせて、河井継之助記念館や山本五十六記念館などで歴史に関するクイズのポイントラリーを実施する。

(竹内スポーツ振興課長) 平成30年度(公財)長岡市スポーツ協会 スポーツ指導者基礎講習を開催する。スポーツ指導者の資質向上を目指し、6月18日に2つの講演テーマを設けて実施する。講演テーマ①「子どもたちとスポーツの関わり」を金澤教育部長が講演する。講演テーマ②「選手を支える」では、長岡市スポーツ親善大使の中村真衣氏とこばたてるみ氏を講師に迎え、選手をサポートするという観点から講演をいただく。また、5月29日午後4時から、YONEX LADIES 第20回大会を記念してオープニングトークショーを開催する。長岡に縁のある三波豊和氏によるトークショーが行われる。出場選手のグッズのプレゼント・抽選会もある。

(高橋教育長) 質疑、意見はないか。

(高橋教育長) 長岡城跡出土品展と長岡城跡展の違いは何か。

(小熊科学博物館長) 5月25日からアオーレ長岡で開催する長岡城跡出土品展は、出土したものを主に展示をする。9月15日から科学博物館で開催する長岡城跡展は、発掘調査の中身や成果を主としている。

(高橋教育長) 長岡藩主牧野家の至宝展は毎年行われているが、今年度の開催は1回だけか。牧野家より寄贈されたものが多くあり、牧野家史料館だけで全部を展示することは難しいと感じる。

(小熊科学博物館長) 至宝展はあらかじめ計画していたものであり、刀関係を中心とした展示とする。今後も、購入した資料を含めて、常設や企画展で継続して紹介していく。

(高橋教育長) その他に報告事項はあるか。

(高橋教育長) 以上で本日の定例会を閉会する。

---

会議の次第を記載し、その相違ないことを証するために署名する。

長岡市教育委員会教育長

長岡市教育委員会委員

長岡市教育委員会委員